

N-Octyl Mercaptan

版番号 1.17

改訂日 2021-09-27

項目1. 化学物質等及び会社情報**製品情報**

製品名 : N-Octyl Mercaptan
材質 : 1115893, 1086427, 1092079, 1089361, 1086426, 1021507,
1021501, 1021505, 1021503, 1021502, 1021508, 1021506,
1021504, 1024813, 1026777, 1036311, 1021509, 1035162,
1024812, 1033723

会社名 : シェブロンフィリップス化学株式会社
Specialty Chemicals
10001 Six Pines Drive
The Woodlands, TX 77380

局部の : See Company Address

緊急連絡電話番号:**健康:**

866. 442. 9628 (北米)

1. 832. 813. 4984 (国外)

輸送:

CHEMTREC 800. 424. 9300 または 703. 527. 3887 (国際電話)

アジア : CHEMWATCH (+612 9186 1132) 中国 : 0532 8388 9090

ヨーロッパ : BIG +32. 14. 584545 (電話) または +32. 14583516 (ファックス)

メキシコ CHEMTREC 01-800-681-9531 (24時間)

南米 SOS-Cotec ブラジル国内 : 0800. 111. 767 ブラジル国外 : +55. 19. 3467. 1600

アルゼンチン : +(54)-1159839431

担当部門 : 製品安全性および毒性グループ
電子メールアドレス : SDS@CPChem.com
ウェブサイト : www.CPChem.com

2. 危険有害性の要約**物質または混合物の分類**

JIS Z7252-2014 及び JIS Z7253-2012 に 従った GHS 分類及びラベル表示 (GHS 2011)

N-Octyl Mercaptan

版番号 1.17

改訂日 2021-09-27

分類

- : 引火性液体, 区分4
- 急性毒性, 区分4, 経口
- 急性毒性, 区分4, 経皮
- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性, 区分2
- 皮膚感作性, 区分1
- 特定標的臓器毒性 (単回ばく露), 区分2, 中枢神経系
- 特定標的臓器毒性 (単回ばく露), 区分3, 麻酔作用
- 特定標的臓器毒性 (反復ばく露), 区分2, 造血系
- 水生環境有害性 短期 (急性), 区分1
- 水生環境有害性 長期 (慢性), 区分1

ラベル付け

シンボル



注意喚起語

: 警告

危険有害性情報

- : H227: 可燃性液体。
- H302 + H312: 飲み込んだ場合や皮膚に接触した場合は有害。
- H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
- H319: 強い眼刺激。
- H336: 眠気又はめまいのおそれ。
- H371: 臓器 (中枢神経系) の障害のおそれ。
- H373: 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器 (造血系) の障害のおそれ。
- H410: 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

- : **安全対策:**
- P210: 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。
- P260: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- P264: 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
- P270: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- P271: 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- P272: 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- P273: 環境への放出を避けること。
- P280: 保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 応急措置:**
- P301 + P312 + P330: 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- P302 + P352: 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
- P302 + P352 + P312: 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん (鹸) で洗うこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。
- P304 + P340 + P312: 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは

N-Octyl Mercaptan

版番号 1.17

改訂日 2021-09-27

医師に連絡すること。

P305 + P351 + P338: 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P308 + P311: ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

P333 + P313: 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。

P337 + P313: 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

P362 + P364: 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

P370 + P378: 火災の場合：消火するために乾燥砂、粉末消火剤（ドライケミカル）又は耐アルコール性フォームを使用すること。

P391: 漏出物を回収すること。

保管:

P403 + P233: 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

P403 + P235: 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

P405: 施錠して保管すること。

廃棄:

P501: 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

別名 : 1-Octanethiol
normal-Octyl mercaptan
NOM
NC8SH

分子式 : C₈H₁₈S

化学名	CAS番号	含有量	化審法（ENCS）/安衛法（ISHL）番号
n-Octyl Mercaptan	111-88-6	98.5 % - 100%	2-464

4. 応急措置

一般的アドバイス : 危険域から避難させる。この安全データシートを担当医に見せる。本物質を飲み込んだり吐いたりした場合、生命にかかわる可能性のある深刻な肺炎を引き起こすことがある。

吸入した場合 : 意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。症状が持続する場合は、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合 : 皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。衣服に付い

N-Octyl Mercaptan

版番号 1.17

改訂日 2021-09-27

- た場合、衣服を脱ぐ。
- 眼に入った場合 : 予防措置として、水で眼を洗浄する。コンタクトレンズをはずす。損傷していない眼を保護する。洗浄中は眼を大きく開ける。眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 気道を確保する。無理に吐かせないこと。意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。症状が持続する場合は、医師に連絡する。直ちに被災者を病院に連れて行く。

5. 火災時の措置

- 引火点 : 69-71-C (156-160-F) で 101.325 kPa
方法: EU 方式 A.9
- 自然発火温度 : データなし
- 適切な消火剤 : 二酸化炭素 (CO2) .
- 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水.
- 特有の危険有害性 : 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。
- 詳細情報 : 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。火災時の安全上の理由から、缶をそれぞれ別々に保管する。密閉容器を水スプレーで完全に冷却する。
- 火災および爆発の防止 : 火炎や白熱物質に向けてスプレーしてはいけない。炎、熱および発火源から遠ざける。
- 危険有害な分解生成物 : 炭素酸化物、硫黄酸化物。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する予防措置 : 保護具を使用する。十分な換気を確保する。
- 環境に対する注意事項 : 製品を排水施設に流してはならない。安全を確認してから、もれやこぼれを止める。製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
- 除去方法 : 漏出物を閉じ込め、不可燃性の吸収剤（砂、土、珪藻土、バーミキュライト等）を使用して集め、地域/国の規則に従い廃棄するために容器に入れる（項目 13 を参照）。廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

N-Octyl Mercaptan

版番号 1.17

改訂日 2021-09-27

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 : エアゾールの発生を避けること。蒸気/粉じんを吸い込まない。曝露を避ける一使用前に特別指示を受ける。皮膚や眼への接触を避けること。個人保護については項目 8 を参照する。作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。作業室の換気や排気を十分に行う。洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。皮膚感作性並びに喘息、アレルギー、慢性または反復性の呼吸器疾病を有する人は、この製剤を使用するすべての工程に従事しないことが望ましい。

火災及び爆発の予防 : 火炎や白熱物質に向けてスプレーしてはいけない。炎、熱および発火源から遠ざける。

保管

保管場所および容器の必要条件 : 禁煙。換気のよい場所で保管する。一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。ラベルの予防措置を遵守する。電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

大気中濃度を曝露ガイドライン/制限未満に制御するよう適切な換気を行うこと。工学的制御の設計や個人用保護具の選択の際には、本物質の潜在的危険性（第2節参照）、適用される曝露限度、作業活動、および作業場にあるその他の物質を考慮すること。工学的制御または作業方法が、本物質の有害レベルにおける曝露の予防に十分でない場合には、以下の個人用保護具を使用することが推奨される。保護は通常、限定的な時間または一定の状況下に対して提供されるものであるため、ユーザは装置に付属するすべての指示事項および制限事項を読んで理解しておくこと。

保護具

呼吸用保護具 : 通常の大気圧下において最小酸素容量の19.5容量%を維持するために、通気または工学的制御が適切でない限り、NIOSH認定送気呼吸器を着用すること。空中への散布レベルが有害となるような作業を行う場合は、有機蒸気用の濾過式呼吸用保護具など、NIOSH認定の呼吸用保護具を着用すること。有機系蒸気用の空気清浄呼吸器。制御されていない放出、エアロゾル化の可能性、曝露レベルが不明な場合、または空気清浄呼吸器では十分な保護が得られない可能性があるその他の状況では、陽圧、空気供給式の呼吸器を使用してください。

手の保護具 : 製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間

N-Octyl Mercaptan

版番号 1.17

改訂日 2021-09-27

に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。・手袋に劣化または薬品の浸透を示す兆候わずかにある場合でも、手袋を破棄し取り替えなければならない。・

- 眼の保護具 : 純水入りの眼洗浄ボトル。密着性の高い安全ゴーグル。
- 皮膚及び身体の保護具 : 適した身体防具を選ぶには、そのタイプ、危険物質の濃度や量そして特定の作業場を考慮する。・必要に応じて着用 : 耐火保護服。汚染された衣服は洗浄してから再使用すること。・接触後、皮膚を洗浄する。・薬品からの保護靴。
- 衛生対策 : 使用中は飲食しないこと。・使用中は禁煙。・休憩前や終業時には手を洗う。・

9. 物理的及び化学的性質

基礎物理および化学特性の情報

外観

- 形状 : 液体
- 物理状態 : 液体
- 色 : 無色
- 臭い : 刺激臭

安全性データ

- 引火点 : 69-71-C (156-160-F) で 101.325 kPa
方法: EU 方式 A.9
- 爆発範囲の下限 : データなし
- 爆発範囲の上限 : データなし
- 酸化特性 : Н е т
- 自然発火温度 : データなし
- 分子式 : C8H18S
- 分子量 : 146.32 g/mol
- pH : 適用されない
- 流動点 : データなし
- 沸点／沸騰範囲 : 199-C (390-F)
- 蒸気圧 : 0.02 PSI
で 37.8-C (100.0-F)
- 比重 : 0.85

N-Octyl Mercaptan

版番号 1.17

改訂日 2021-09-27

で 16 -C (61 -F)

水溶性 : 無視できるほど僅か

n-オクタノール／水分配係数 (log 値) : データなし

動粘度 (動粘性率) : 1.04 mm²/s
で 40-C (104-F)相対蒸気密度 : 1
(空気=1.0)

蒸発速度 : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 推奨保管条件下では安定。

化学的安定性 : この材料は、通常の周囲温度と予想されるストレージの下に安定したと見なされ、温度や圧力の条件を処理する。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性 : 危険有害反応可能性: 危険な重合は起こらない。

詳細情報: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

危険有害反応可能性: 蒸気は空気と爆発性混合物を形成することがある。

避けるべき条件 : 熱、炎、火花。.

混触禁止物質 : 酸素や強い酸化剤 (塩素酸塩、硝酸塩、過酸化物など) と反応することがある。.

危険有害な分解生成物 : 酸化性固体、酸化性液体。
炭素酸化物
硫黄酸化物

その他のデータ : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。.

11. 有害性情報

N-Octyl Mercaptan

版番号 1.17

改訂日 2021-09-27

急性毒性（経口）

n-Octyl Mercaptan : LD50: 2,436 mg/kg
種: ラット
性: 男性および女性
方法: 用量固定法

急性毒性（吸入）

n-Octyl Mercaptan : LC50: > 0.24 mg/l
曝露時間: 4 HR
種: ラット
性: 男性および女性
試験環境: 蒸気
方法: OECD 試験ガイドライン 403
LC50 吸入/4h/ラットではラット死亡率が最大可能濃度でゼロであったことから同定不可。

急性毒性（経皮）

n-Octyl Mercaptan : LD50: > 1,680 mg/kg
種: ラット
性: 男性および女性
方法: OECD 試験ガイドライン 402

皮膚刺激性

n-Octyl Mercaptan : 僅かな刺激。多くが動物の証拠に基づいている。

眼への刺激

n-Octyl Mercaptan : 僅かな刺激。多くが動物の証拠に基づいている。

感作性

n-Octyl Mercaptan : 皮膚に触れると感作を起すことがある。
多くが動物の証拠に基づいている。

反復投与毒性

n-Octyl Mercaptan : 種: ラット, オス
性: オス
投与経路: 経口
投与量: 0, 10, 50, 250 mg/kg
曝露時間: 35 D
曝露回数: once daily
NOEL 無影響濃度 (量) : 50 mg/kg
方法: OECD テストガイドライン 423

N-Octyl Mercaptan

版番号 1.17

改訂日 2021-09-27

種: ラット, メス
性: メス
投与経路: 経口
投与量: 0, 10, 50, 250 mg/kg
曝露回数: once daily
NOEL 無影響濃度 (量): 50 mg/kg
方法: OECD テストガイドライン 423

in vitro での遺伝毒性

n-Octyl Mercaptan : 試験タイプ: 復帰突然変異試験
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
方法: 変異原性 (大腸菌 - 復帰突然変異アッセイ)
結果: 陰性

試験タイプ: in vitro 染色体異常試験
テストシステム: 人間のリンパ球
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
結果: 陰性

試験タイプ: 姉妹染色体交換
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
結果: 陰性

in vivoでの遺伝毒性

n-Octyl Mercaptan : 試験タイプ: 小核試験
種: マウス
方法: 変異原性 (小核試験)
結果: 陰性

生殖毒性

N-Octyl Mercaptan

版番号 1.17

改訂日 2021-09-27

n-Octyl Mercaptan : 種: ラット
 性: オス
 投与経路: 口腔ダイエット
 投与量: 0, 10, 50, 250 mg/kg
 曝露時間: 35 D
 曝露回数: once daily
 方法: OECD テストガイドライン 423
 NOAEL Parent: 250 mg/kg
 NOAEL F1: 250 mg/kg

種: ラット
 性: メス
 投与経路: 口腔ダイエット
 投与量: 0, 10, 50, 250 mg/kg
 曝露回数: once daily
 方法: OECD テストガイドライン 423
 NOAEL Parent: 50 mg/kg
 NOAEL F1: 250 mg/kg

発生毒性

n-Octyl Mercaptan : 種: ラット
 投与経路: 口腔ダイエット
 投与量: 0, 10, 50, 250 mg/kg
 曝露回数: once daily
 NOAEL Teratogenicity: 250 mg/kg

誤えん有害性

n-Octyl Mercaptan : 飲み込んで気道に侵入すると有害のおそれ。 .

CMR 影響

n-Octyl Mercaptan : 変異原性: 細菌または哺乳類培養細胞での試験では遺伝子の突然変異効果は発現しなかった。
 催奇形性: 動物実験では退治発育への影響は無かった。
 生殖毒性: 動物実験では繁殖力への影響は無かった。

**N-Octyl Mercaptan
詳細情報**

: 溶剤は皮膚を脱脂することがある。 .

12. 環境影響情報**魚毒性**

n-Octyl Mercaptan : LC50: 0.326 mg/l
 曝露時間: 96 HR
 種: *Oryzias latipes* (オレンジレッドカダヤシ)
 半静止試験 分析モニタリング: 該当
 方法: OECD 試験ガイドライン 203

N-Octyl Mercaptan

版番号 1.17

改訂日 2021-09-27

魚に対して非常に毒性がある。

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性

n-Octyl Mercaptan : 0.0243 mg/l
曝露時間: 48 HR
種: Daphnia magna (オオミジンコ)
固定化 分析モニタリング: 該当
方法: OECD 試験ガイドライン 202
水生生物に猛毒。

藻類に対する毒性

n-Octyl Mercaptan : 0.039 mg/l
曝露時間: 72 HR
種: Pseudokirchneriella subcapitata (ムレミカヅキモ)
半静止試験 分析モニタリング: 該当
方法: OECD 試験ガイドライン 201
藻に対して非常に毒性がある。

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性)

n-Octyl Mercaptan : > 0.00467 mg/l
曝露時間: 21 TEN
種: Daphnia magna (オオミジンコ)
魚およびプランクトンへの毒性影響

生分解性

n-Octyl Mercaptan : 結果: 易分解性ではない。
0 %
試験期間: 28 DAY
方法: OECD 試験ガイドライン 301
本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。

生体蓄積性

n-Octyl Mercaptan : 生物濃縮因子 (BCF) : 11.83
方法: QSARのデータをモデル化

移動性

n-Octyl Mercaptan : 溶媒: 土壌
方法: 計算, マッカイ・レベルIIIファガシティモデル
コンテンツ: 47.8 %
本製品は水中で浮遊または沈潜する。

N-Octyl Mercaptan

版番号 1.17

改訂日 2021-09-27

： 溶媒: 水
 方法: 計算, マッカイ・レベルIIIファガシティモデル
 コンテンツ: 25 %
 本製品は水中で浮遊または沈潜する。

生態系に関する追加情報 : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期 (急性)

n-Octyl Mercaptan : 水生生物に非常に強い毒性。

水生環境有害性 長期 (慢性)

n-Octyl Mercaptan : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

13. 廃棄上の注意

このSDSの情報は、出荷される製品のみに関連する。

本物質は意図された目的に使用し、可能であれば再生利用すること。廃棄する必要がある場合、本物質は、RCRA (40 CFR 261) に基づき米国EPAに定義された、またはその他の州や地方自治体により定義された、有害廃棄物の基準が適用されることがある。適切な判断を下すために、所定の物理的性質の測定および規制対象物質の分析が必要な場合がある。本物質が有害廃棄物として分類されている場合には、連邦法により認可済みの危険廃棄物処理施設にて廃棄することが義務付けられている。

製品 : 本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。 薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。 認可された廃棄物処理業者へ委託する。

汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする 製品入り容器と同様に処分する。 空の容器を再使用しない。 空のドラムを燃やしたり、切断トーチを使用しないこと

14. 輸送上の注意

ここに示される輸送の説明はバルク輸送に関するもののみであり、それ以外の包装済み製品輸送には適用されない (規制の定義を参照)。

他の輸送説明要件 (専門的名称など) については、米国内外モードに特有、および量に特有の、適切な危険物取扱規定を調べる。従って、ここに示す情報は本物質に対する船荷証券輸送記述に必ずしも一致しないことがある。物質の引火点は、SDSと船荷証券との間にわずかな違いがあることがある。

US DOT (米国運輸省)

NA1993, COMBUSTIBLE LIQUID, N. O. S., (N-OCTYL MERCAPTAN), III

IMO/IMDG (国際海洋危険物)

UN3082, ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S., (N-OCTYL MERCAPTAN), 9, III, (69-71-C), 海洋汚染物質, (N-OCTYL MERCAPTAN)

N-Octyl Mercaptan

版番号 1.17

改訂日 2021-09-27

IATA (国際航空輸送協会)

UN3082, ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. , (N-OCTYL MERCAPTAN), 9, III

ADR (危険物の道路輸送に関する欧州協定)

UN3082, ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. , (N-OCTYL MERCAPTAN), 9, III, (-)

RID (危険物の国際輸送に関する欧州規則)

UN3082, ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. , (N-OCTYL MERCAPTAN), 9, III

ADN (危険物の国際内陸水路輸送に関する欧州協定)

UN3082, ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. , (N-OCTYL MERCAPTAN), 9, III

その他	:	n-Octyl Mercaptan, S.T. 1, Cat. X
-----	---	-----------------------------------

IMO認定機器による海上大量輸送

15. 適用法令**国内法規制****毒物及び劇物取締法**

: 非該当

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物 : 非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物) :

製造の許可を受けるべき有害物 : 非該当

表示要求の対象となる危険物 : 非該当

有機溶剤中毒予防規則 : 非該当

鉛中毒予防規則 : 非該当

製造等が禁止される有害物 : 非該当

特定化学物質障害予防規則 : 非該当

N-Octyl Mercaptan

版番号 1.17

改訂日 2021-09-27

四アルキル鉛中毒予防規則 : 非該当
 : 非該当
 : 非該当

健康障害防止指針公表物質 : 非該当
 収載

化審法

: 特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

化学物質排出把握管理促進法

: 非該当

その他の規制

消防法 : 引火性液体
 第二石油類
 危険等級III

火薬類取締法 : 該当せず

船舶安全法 : 危規則第2,3条危険物告示別表第1: 有害性物質, 環境有害物質

航空法 : 施行規則第194条危険物告示別表第1: その他の有害物

高圧ガス保安法 : 非該当

火薬類取締法 : 非該当

船舶安全法 : 危規則第2,3条危険物告示別表第1: 有害性物質

航空法 : 施行規則第194条危険物告示別表第1: その他の有害物

既存化学物質リスト

欧州 REACH : インベントリーに記載されているか、従っている

スイス CH INV : インベントリーに記載されているか、従っている

アメリカ合衆国 (米国) TSCA : TSCA インベントリーの有効部分に基づくか、または準
 拠している

カナダ DSL : 本製品中の成分は全てカナダDSLリストに収載されてい
 る。

オーストラリア AICS : インベントリーに記載されているか、従っている

ニュージーランド NZIoC : インベントリーに記載されているか、従っている

日本 ENCS : インベントリーに記載されているか、従っている

韓国 KECI : この製品に含まれるすべての物質は、登録されたか、

N-Octyl Mercaptan

版番号 1.17

改訂日 2021-09-27

登録するように通知されたか、あるいはK-REACH規則に従う唯一の代理人を通じたCPChemによる登録が免除された。この製品の輸入は、韓国登録輸入業者がCPChemの届け書に記載されている場合、または登録輸入業者が自らこの物質を届け出ている場合に許可される。

フィリピン PICCS : インベントリーに記載されているか、従っている
 中国 IECSC : インベントリーに記載されているか、従っている
 台湾 TCSI : インベントリーに記載されているか、従っている

16. その他の情報

詳細情報

レガシー SDS 番号 : 76100

前バージョンからの大幅な変更は、余白に強調表示されている。本バージョンは以前のすべてのバージョンと差し替えられる。

このSDSの情報は、出荷される製品のみに関連する。

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。記載されている情報はいかなる保証もするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、このMSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。

安全データシートで使用されるキーまたは凡例から略語や頭字語まで

ACGIH	米国産業衛生専門家会議	LD50	50%致死量
AICS	オーストラリア既存化学物質インベントリー	LOAEL	最小有害影響量
DSL	カナダ国内物質リスト	NFPA	米国消防庁
NDSL	カナダ非国内物質リスト	NIOSH	米国国立労働安全衛生研究所
CNS	中枢神経系	NTP	米国国家毒性プログラム
CAS	化学情報検索サービス機関	NZIoC	ニュージーランド化学物質台帳
EC50	有効濃度	NOAEL	無毒性量
EC50	50%影響濃度	NOEC	無影響濃度
EGEST	EOSCA一般暴露シナリオツール	OSHA	労働安全衛生庁
EOSCA	欧州油性化学物質協会 (European Oilfield Specialty Chemicals Association)	PEL	許容暴露限界
EINECS	欧州既存商業化学物質インベントリー	PICCS	フィリピン商業化学物質インベントリー
MAK	ドイツ最大許容濃度	PRNT	推定無毒性
GHS	世界調和システム	RCRA	資源保全再生法
>=	以上	STEL	短時間暴露限界
IC50	50%阻害濃度	SARA	スーパーファンド改正・再承認法
IARC	国際癌研究機関	TLV	限度値
IECSC	中国現有化学物質名録	TWA	時間加重平均
ENCS	日本既存化学物質インベントリー	TSCA	有害物質規制法
KECI	韓国既存化学物質目録	UVCB	組成が不明または不定の構成物質、複雑な反応生成物及び生体物質
<=	以下	WHMIS	作業場危険有害性物質情報システム

N-Octyl Mercaptan

版番号 1.17

改訂日 2021-09-27

			△
LC50	50%致死濃度		